

議案第1号 2007(平成19)年度活動報告について(案)

はじめに

昨年9月に「第7回DPI世界会議韓国大会」(以下、DPI韓国大会)が開催され、全体会・分科会で熱心な討論が繰り広げられた。このDPI韓国大会においてプログラムの主要なテーマであった「障害者の権利条約」(以下、権利条約)は、批准国が20ヶ国を超え、先月の3日に発効した。日本政府は昨年9月に署名しているが、日本政府が公表した仮訳には多くの問題を含んでいる。

権利条約については、実効性がともなった批准が大きな課題である。DPI日本会議は、日本障害フォーラム(以下、JDF)の条約に関する小委員会の事務局団体として、条約の国内履行のための政府との意見交換会等で中心的役割を果たしていることから、DPI北海道ブロック会議(以下、DPI北海道)としても3月の「JDF地域フォーラムin北海道」の開催等、積極的に地域の声を反映してきた。

この地域フォーラムに関しては、条約批准、差別禁止法及び地域における条例制定が重要であることが確認されたが、その前段の道内における障害者の権利法制の確立のための取り組みとしては、6月にDPI北海道総会記念イベントとして開催し、11月にも第2弾を開催している。

また、昨年度も「障害者自立支援法」(以下、「自立支援法」)に対する継続的な取り組みを「自立支援法対応会議」(以下、対応会議)で意志決定をし、関係団体との連携に基づき進めてきた。

更に、新たな課題として「駐車禁止除外指定車標章の対象範囲の変更」にともなう課題への取り組み等も進めてきた。

なお、3月には、突然「札幌市障がい者交通費助成制度の見直し案」が示されたが、新たな課題としての取り組みが求められる。

こうした活動をはじめとするDPI北海道として進めてきた主要な活動を以下、報告する。

第7回DPI世界会議韓国大会への参加報告について

昨年9月5日から8日までの4日間に渡り、韓国の京畿道高陽市(キョンギ道コヤン市)のKINTEXを舞台に「DPI韓国大会」が開催された。71の国と地域から約2,700人(日本からは300人以上。道内からは17名。)が参加したこの大会は、「私たちの権利、私たちの条約 そして、すべての人のために」を大会テーマとし、2006年12月13日に第61回国連総会で成立した「権利条約」を祝福するものであった。また、DPIとして、この条約をすべての国々が批准して、各国が実効性有る国内施策を進めていくための次のステップを模索する大会でもあった。

初日の開会式では、ピーナス・イラガンDPI世界議長(比)から「第6回DPI世界会議札幌大会」(以下、札幌大会)以降の活動と条約成立に関する報告及びDPI結成25周年を祝う挨拶が行われた。イ・イクソブDPI韓国会長からは、条約成立を受けて、すべての人々の人権の確立に向けた歴史を創りあげていくためのDPIとしての運動を提起する挨拶が行われた。その後のパン・ギムン国連事務総長(韓国)のビデオメッセージとルイス・ガレゴス元特別委員会議長(エクアドル)の基調講演では、「障害者権利条約」がDPIを含む障害当事者団体を中心としたNGOが「Nothing about us, without us!」をスローガンとして、制定過程に参画したことなどが紹介された。その後、中西由起子常任委員を含む5人からDPIの歴史が語られた。

2日目と3日目は、最初に1時間の全体会で報告を受けた後、分科会が6会場で開催された。各分科会は、条約の条文を基本として「女性障害者」、「自立生活」、「教育」等の34のテーマが設定された。日本からは、20名余りが発言者として出席し、各テーマに関する日本の現状と課題及び今後の運動の方向性等を報告した。(西村DPI北海道議長も「労働分科会」で発言者として参加した。)

4日目は、DPI総会が開催され、DPIの役員選挙が実施された。新たな議長は、DPI南米ブロック会議から初めてウィルフレッド・グズマン氏(ペルー)が選出され、DPI日本会議の中西正司常任委員は、財務担当

役員として再任された。(中西正司常任委員は、大会中に開催されたDPIアジア太平洋ブロック総会で引き続きブロック議長にも選出されている。)

別室で選挙が実施されている時間帯には、DPIの新役員への期待の声を求めるディスカッションが行われ、日本の知的障害当事者からは、障害種別を超えたDPI運動に知的障害者の参加の必要性が提起された。その後、閉会式とセレモニーが展開され大会は閉会した。

以上の内容で韓国大会は開催されたが、こうした公式プログラムに加えて、2日目の夜に女性障害者の交流を深め、国際的なネットワークの結成等を目的とした「世界女性障害者交流会」が行われ、同時に行われた「日韓差別禁止法セッション」では、障害者差別禁止法に関する韓国と日本の状況の報告と、合理的配慮に関する論議を深めあった。3日目のランチタイムと夜には「ILグローバルサミット」が開催され、世界各国のIL運動に関心を持つ多くの参加者を集めて、熱気のコもったセッションが展開された。多くの国々の多様な参加者とともに多様な交流が図られたDPI韓国大会であった。

「JDF地域フォーラムin北海道」の開催について

JDFは、2002年の取り組みを受けて、その定款において「第二次アジア太平洋障害者の十年及びわが国の障害者施策を推進するとともに、障害をもつ人の権利を推進することを目的に障害者団体を中心として連携を図る。」ことをその活動目的としてきた。そして、具体的な取り組み課題としては、「権利条約の推進」と「差別禁止法の実現」を含む5つの項目を掲げている。

この項目中の「権利条約」に関しては、条約採択前には権利条約の内容を検討するために国連に設置された特別委員会や条約の草案を作成した作業部会に、JDFとして参加するとともに当事者を日本政府代表団の顧問として位置づけた。署名後の現在は、権利条約の批准に向けて国内法の検証と整備を進めるために内閣府と外務省を中心として、関係省庁との協議を進めている。

しかし、JDF内では、こうした経過や現在の動向は、地域に十分に発信できていないことや、今後の取り組みに地域からの声を反映していくこと、更に、地域において、障害者団体が、その種別等を超えたつながりを築き、権利条約批准や差別禁止法及び条例制定に向けた取り組みを構築するために地域におけるフォーラム開催の必要性が議論されてきた。

そして、今年2月には東海地域(名古屋市開催)において、3月には北海道地域(札幌市開催)において、初めてJDF地域フォーラムが開催され、成功のうちに幕を閉じている。

北海道では、基本的には、東海フォーラムのプログラム等を継承して準備を進め、3月29日に札幌市社会福祉総合センターにおいて239名が参加して開催した。

このフォーラムでは、北海道レベルで「障害者をもつ人の権利の推進」や「JDF関連の地方組織の関係強化」、「権利条約とJDFの目的の共有とその活動の推進」、「中央と地域の連携の確立と強化」、そして、「障害者差別禁止条例の制定」を目的として開催した。

また、実行委員会には、JDFの地方組織を中心として24の関係団体が参加した。

当日は、JDF及び実行委員会からの主催者挨拶で、地域フォーラム開催の目的と意義を強調した。続く基調報告では、JDFの設立経過と権利条約を中心としたこの間のJDFの取組が報告された。続く記念講演では、権利条約の各条項に関する内容と、条項から検証した国内の障害者の現状と課題が指摘された。

そして、最後のパネルディスカッションでは、3名の当事者(視覚、精神、肢体)と1名の研究者をパネリストに迎えるとともに、指定発言者として3名の当事者(ろうあ、知的、精神)と2名の親(知的、重心)、そして福祉的就労の現場から1名の支援者が、フロアーから発言した。このパネルディスカッションでは、それぞれのかかえている問題や現状が、条約批准でどう変わるのか、変えていけるのか、また、そのために何が私たちに求められているのかを議論した。

そして最後に、道内外における継続的な取り組みをとともに進めていくことを確認して4時間30分におよぶフォーラムは、終了した。

「障害者権利法制の確立に関するセミナー」の開催について

DPI北海道は、DPI札幌大会の開催5周年とDPI韓国大会の開催を記念して、昨年11月23日に北海道新聞社会福祉基金の助成を受けて「障害者権利法制に関するセミナー」を開催した。

このセミナーでは、障害者に関する権利法制として、2006年10月に千葉県で制定された条例。同じく12月に国連で採択された権利条約。昨年3月に韓国で成立した障害者差別禁止法。そして、「DPI韓国大会」の報告を受けて、障害者の権利法制に関する成立経過、議論、内容、課題等を検証し、障害者の人権と尊厳の保障及び差別の禁止等について学ぶとともに、道内における条例の必要性について議論した。

そして、北海道における今後の障害施策の推進に当たっては、パネリストとして出席した各道議会議員からは、超党派によって条例を制定していくことの必要性と制定に向けた取り組みに関する合意ができた。

「障害者自立支援法」に関する取り組みについて

10月30日に東京で開催された「今こそ変えよう！『障害者自立支援法』10・30全国大フォーラム」を直前に、北海道における関連行動として10月27日に「今こそ変えよう！『障害者自立支援法』10・27北海道フォーラム～どうなる？どうする？どうなった？障害児・者の暮らしとサービス～」を開催した。

今回のフォーラムは、これまでの連帯の輪を更に拡大し知的障害児・者の家族や支援者とともに開催した。10月に入ってから急遽、準備を始めたが、当日は、会場には、用意した席では対応しきれない570名（介護者を除く）の参加者を迎えることができた。

フォーラムの主催者挨拶では、厚生労働省が、自立支援法の制定に際して障害保健福祉施策の解決しなければならない課題として示した「市町村のサービス格差の是正」と「サービス基盤の整備」について、地域生活支援事業（移動支援）の現状と介護労働者の実態を報告しながら、その目的が達成されていないだけでなく、むしろ問題がこれまで以上に深刻になっていることが報告された。

その後の「自立支援法施行後の現状と課題」と題した基調報告では、自立支援法の抜本改正に向けて、「障害程度区分」、「所得保障」、「サービス体系」、「地域移行」等の諸課題について提起された。

そして、身体（全身性・視覚・聴覚）、知的、精神の当事者、働く障害者、家族、事業者（居宅・障害児・小規模作業所・グループホーム・ケアホーム・施設・相談）の立場から14名が、それぞれの現場の実態を報告し、その改善を求めた。

このフォーラムには、自民党から衛藤参議院議員（自民党厚生労働部会長）、民主党から逢坂衆議院議員、共産党から紙参議院議員が出席され、それぞれの立場から発言を頂戴した。

最後に、全国大フォーラムに準じた内容と趣旨のアピール文を採択し尾上DPI日本会議事務局長の連帯の挨拶をもって、10.27北海道フォーラムは、終了した。

「駐車禁止除外指定車標章の制度変更」への取り組みについて

昨年9月14日に道路交通法施行細則（北海道公安委員会規則）が改正され交付対象者の範囲が変更になり、これまで交付を受けていた移動や歩行が困難な障害者の一部が対象外となったことが判明した。

それを受けて、DPI北海道として、約1週間後の9月20日に、その改善を求める要望書を北海道公安委員会と北海道警察本部へ提出した。その後、今回の見直しによる影響とその問題点を明らかにするため、対象外となる障害当事者の実態を調査した。この調査は、DPI北海道の構成団体とともに1～3月に実施している。また、今年3月12日には北海道議会において、道下道議会議員（民主党・道民連合）が一般質問で、この問題を取り上げられ、傍聴するとともにテレビ局の取材にも協力している。

今回の制度変更に際して、警察庁はパブリックコメントを募集したが、その時点では、対象とする障害程度を変更することには触れていなかった。このような重要な内容を明らかにしないままのパブリックコメントの募集では、国民や当事者の声を聞いたとはいえないだろう。さらに、当事者や関係者への説明や

交付対象を変更することによる影響を考慮しないで制度を変更することは、当事者不在・無視であり、一方的な官主導そのものといえる。

また、もし、標章の不正使用や迷惑駐車の問題を理由として、交付対象をその必要性や実態も検証することなく変更したのであれば、不正に対する対応としては、本末転倒なものといえる。

新聞報道によると、今回の見直しにより、道内の標章の交付枚数は37,000枚が、改正後には、12,000枚前後が対象外になってしまうという。それは、同時に、12,000名の障害者の社会参加の機会を抑制するものであり、障害当事者の生活とその質を低下させるものといえる

DPI北海道は、今回の調査結果を活用し、この標章を使って社会参加や日常生活を営んでいた12,000名の障害者が、深刻な影響を受けることを関係機関に十分な理解を求め、その改善を図るために引き続き取り組みを進めていくことが重要である。

「投票へ行こうよ キャンペーン活動！！」について

昨年は、4月に統一地方選が行われ、7月には参議院選挙が実施された。の統一地方選では、いくつかの地域で障害当事者が議員として選ばれたが、国政の場に、障害当事者議員が誕生することはなかった。

こうした一連の選挙を控え、DPI北海道としては、関係団体との連携により、この選挙に立候補する人たちに障害者とその生活上のニーズ等を知って頂くことと、障害者や障害福祉関係者が選挙にもっと関心をもち投票に行くことを啓発していくための活動を展開した。

その活動は「投票へ行こうよ キャンペーン、2007」として実施し、そのひとつとして、候補予定者に「介護体験セミナー」を案内し、障害者の介護を自ら体験して頂いた。

また、障害保健福祉施策等に関するアンケート調査を実施することにより各課題に対する意識啓発にも努めてきた。更に、郵便投票制度を利用できないなどの理由で投票に行くことが困難な障害者や高齢者に対しては、車両及びボランティアを派遣した。

そして、DPI北海道の総会開催日の6月には、「日本の障害福祉施策とこの国の進路を考えるシンポジウム～どうなる？ どうする？ 私たちの国の未来～」と題して、参議院議員候補予定者によるシンポジウムの開催と旭川市をスタートして札幌市をゴールとする「投票へ行こうよ！！キャンペーン・キャラバン～私たちの一票が地域を変える～」を実施した。

おわりに

DPI北海道の設立時からの理事であり、昨年の第23回DPI日本会議全国集会in神奈川の特別分科会1「生命倫理」においてシンポジストを務めた富田直史氏が、昨年7月31日に亡くなった。翌月5日には、彼の発案と企画で北海道ろうきんの助成を受けて開催した「障害者でもいいしょセミナー～命の選別についてあなたは、どう考えますか？～」を直前にしてのことであった。彼の死によって、開催が危ぶまれたセミナーであったが、セミナーの登壇者との協議の結果、故人の遺志を継承し開催することとした。

当日は、約80名が出席し、「命の価値」や女性と障害児・者の人権について考えるとともに、その存在や誕生を脅かす着床前診断や生命倫理及び優生思想についての議論を深めることができた。

参加者からは、「命」や「生」の大切さが訴えられ、「命が粗末にされる昨今において有意義な場を持てた」との発言もあった。また、このようなセミナーを自分の地域でも開催したいとの発言もあり、このセミナーの開催目的であり、故富田氏の「想い」であった「出生前診断とは何か」、「何が問題とされているのか」を論点として尊厳ある人としての「生」についての議論を喚起することができた。

私たちの大切な友を失ったことは、極めて残念であるが、その「生き方」と「想い」を私たちが継承することが、ともに活動してきた仲間であり友として私たちが、彼に示すことのできる弔意といえるだろう。

DPI北海道の2007年度の活動経過報告の最後に、改めて、32年間の人生を生き抜いた彼に賞賛と労いの言葉を贈りたい。なお、DPI北海道の昨年度の具体的な活動状況を以下の別表1のとおり報告する。

1 組織活動

(1) 国際関係

DPIアジア太平洋ブロック総会

ア. 日 時：2007年9月6日（木）

イ. 場 所：韓国 京畿道 高陽市（きょんどう こやんし）

第7回DPI世界会議韓国大会

ア. 日 時：2007年9月5日（水）～8日（土）

イ. 場 所：京畿道 高陽市（きょんどう こやんし）

ウ. 内 容：初日（開会式&シンポジウム）、2～3日目（分科会）、最終日（総会・閉会式等）

第3回DPI北東アジア小ブロック会議

ア. 日 時：2007年12月11日（火）～12日（水）

イ. 場 所：中華人民共和国 北京

(2) DPI日本会議関連について

第23回DPI日本会議全国集会in神奈川大会[横浜市：ワークピア横浜](6月9～10日)

テーマ 「障害者権利条約でどう変わる、どう変える、私たちの生活」

ア. 総会

- ・ 議 案：2005年度活動報告及び決算
- ・ 関連報告：2006年度活動方針ならびに予算等の報告

イ. 全体集会

- ・ 第1部 障害者権利条約制定の経過と今後の取り組み DPI日本会議事務局次長 金 政玉
- ・ 第2部 シンポジウム「障害者権利条約制定の経過と今後の取り組み」
シンポジスト 池 田 まり子（生きる会・会長）
東 俊 裕（弁護士・DPI日本会議条約担当役員）
尾 上 浩 二（DPI日本会議事務局長）
コーディネーター 西 村 正 樹（DPI日本会議副議長・DPI北海道ブロック会議議長）
- ・ 分科会&特別分科会
分科会1 地域生活支援「根っこから変える！自立支援法～障害者の地域生活確立を！」
分科会2 交通・まちづくり「交通・まちづくり運動の歴史から学び、より良き明日への展望を探る」
分科会3 権利擁護「今度は日本の番！差別禁止法に向けた戦略」
分科会4 教育「障害者権利条約批准に向けた障害児教育の制度改革を！」
特別分科会1 生命倫理「あらためて問い直そう！郵政思想と生きる権利～『尊厳司法』『脳死・臓器移植法改正』の動きの中で」
特別分科会2 地域生活「地域生活を変える仕組み」

DPI日本会議常任委員会（2ヵ月1回開催）

- ア. 2006年度第6回会議開催[東京：全国心身障害児福祉財団ビル・戸山社会教育会館]（4月21～22日）
- イ. 2007年度第1回会議開催[東京：東京国際センター・和泉橋区民会館]（8月18～19日）
- ウ. 2007年度第2回会議開催[東京：新宿区立障害者福祉センター]（10月13～14日）
- エ. 2007年度第3回会議開催[東京：和泉橋区民館]（12月15～16日）
- オ. 2007年度第4回会議開催&JDF地域フォーラムin東海[名古屋市：AJU自立の家等]（2月16～17日）

DPI日本会議役員会議（2ヵ月1回開催）

- ア. 2006年度第6回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（5月13日）
- イ. 2007年度第1回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（7月1日）

- ウ．2007年度電話会議(8月14日)
- エ．2007年度第2回会議開催[東京：DPI日本会議事務局](9月30日)
- オ．2007年度第3回会議開催[東京：DPI日本会議事務局](11月18日)
- カ．2007年度第4回会議開催[東京：DPI日本会議事務局](1月12日)
- キ．2007年度第5回会議開催[東京：DPI日本会議事務局](3月1日)

事務局会議及び関連会議等

- ア．第1回バリアフリー障害当事者リーダー接遇研修[東京：王子スポーツセンター](11月10～11日)
- イ．第13回障害者政策研究集会[東京：戸山サンライズ等](12月1～2日)
- ウ．障害をこえてつながろう！12.16東京集会北九州市餓死事件 それは私たちの問題 [東京：三鷹市市民協働センター](12月16日)
- エ．DPI女性障害者ネット「世界会議報告集会」[東京：戸山サンライズ等](12月23日)
- オ．就労に関する聞き取り調査事務打合会議[東京：DPI日本会議事務局](2月29日)
- カ．第2回バリアフリー障害当事者リーダー接遇研修[東京：王子スポーツセンター](3月8～9日)
- キ．第14回障害者政策研究集会[東京：戸山サンライズ等](12月13～14日)
- ク．「障害者雇用促進法改正」に関する厚生労働省交渉[東京：厚生労働省](2月29日)
- ケ．生活保護の通院移送費と母子加算の削減中止を求める厚労省への要請行動[東京：厚労省前](3月31日)

「障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動」実行委員会

- ア．7.9政策フォーラム「今後の障害者施策のあり方をめぐって 自立支援法の現状と課題」[東京：総評会館](7月9日)
- イ．厚生労働省交渉&アピール行動[東京：厚生労働省](7月17日)
- ウ．障害者ホームヘルプ事業の人材確保に関するアンケート調査(10月23日記者発表)
- エ．『私たち抜きに私たちのことを決めないで！ 今こそ変えよう！「障害者自立支援法」 10.30全国大フォーラム』[日比谷公園&厚生労働省前](10月30日)
- オ．国会議員要請行動[衆議院第1～2議員会館・参議院会館](10月31日)
- カ．厚生労働省交渉[東京：厚生労働省](11月20日)
- キ．厚生労働省交渉[東京：厚生労働省](2月25日)

(2) DPI北海道ブロック会議関連について

第5回DPI北海道ブロック会議通常総会&記念イベント[札幌市身障福祉センター](6月23日)

- ア．報告：第23回DPI日本会議総会について
- イ．議題：06年度活動経過報告、決算及び監査報告・07年度事業計画、予算及び役員体制各案等
- ウ．記念イベント：障害者権利法制の確立に関するセミナー Part1

開会挨拶&報告「障害者権利条約制定経過とそのめざすもの」

DPI日本会議副議長&DPI北海道ブロック会議議長 西村正樹
 記念講演「障害福祉施策から見える日本社会とその未来～自立支援を手がかりに～」
 北星学園大学教授&DPI北海道理事 田中耕一郎氏

シンポジウム「障害者権利法制確立の意義と課題」

～権利条約批准と国内施策の検証から我が国の障害施策の課題を検証する。～

シンポジスト	民主党参議院議員	小川勝也氏
	日本共産党北海道政策委員長	畠山和也氏
	日本弁護士連合会弁護士	西村武彦氏
	(社福)北海道社会福祉協議会事務局次長	白戸一秀氏
コメンテーター	北星学園大学教授&DPI北海道理事	田中耕一郎氏
コーディネーター	DPI北海道ブロック会議議長	西村正樹

DPI北海道ブロック会議理事会（2ヵ月1回開催）

- ア．2007年度第1回会議開催[札幌市身障福祉センター]（6月13日）
- イ．2007年度第2回会議開催[北海道自治労会館]（9月1日）
- ウ．2007年度第3回会議開催[札幌市身障福祉センター]（11月24日）
- エ．2007年度第4回会議開催[札幌市身障福祉センター]（2月24日）
- オ．2007年度第5回会議開催[北海道自治労会館]（3月30日）

DPI北海道ブロック会議事務局会議

- ア．2007年度第1回会議開催[DPI北海道事務局]（8月20日）
- イ．2007年度第2回会議開催[DPI北海道事務局]（8月23日）
- ウ．2007年度第3回会議開催[総合相]（12月7日）
- エ．2007年度第4回会議開催[総合相]（12月13日）
- オ．2007年度第5回会議開催[総合相]（12月18日）
- カ．2007年度第6回会議開催[総合相]（1月7日）
- キ．2007年度第7回会議開催[総合相]（2月4日）

障害者自立支援法に地域の声を届けよう北海道実行委員会(障害者自立支援法対応会議)

- ア．投票へ行こうよキャンペーン,2007第3弾 移動制約者に対する送迎ボランティア[札幌市内](4月3日)
- イ．第39回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](4月4日)
- ウ．第40回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](4月13日)
- エ．第41回会議開催[札幌市身障者福祉センター](4月23日)
- オ．投票へ行こうよキャンペーン,2007第4弾 介護体験セミナー[道回連](4月23日)
- カ．第42回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月7日)
- キ．第43回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月21日)
- ク．第44回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月29日)
- ケ．第45回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月12日)
- コ．投票へ行こうよキャンペーン,2007第5弾 投票へ行こうよ!!キャンペーン・キャラバン(6月17～22日)
[旭川～札幌]
- サ．第46回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月29日)
- シ．第47回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月13日)
- ス．第48回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月20日)
- セ．第49回会議開催[大通公園西5丁目](7月31日)
- ソ．第50回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月9日)
- タ．第51回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月22日)
- チ．第52回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月11日)
- ツ．紙 共産党参議院議員意見交換会[BAKU](9月15日)
- テ．逢坂 民主党衆議院議員意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](9月17日)
- ト．第53回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月18日)
- ナ．第54回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](10月2日)
- ニ．石崎 自民党衆議院議員・厚生労働部会長意見交換会[BAKU](10月8日)
- ヌ．今こそ変えよう!「障害者自立支援法」10.27北海道フォーラム準備会[リンケージ](10月11日)
- ネ．第55回会議開催&今こそ変えよう!「障害者自立支援法」10.27北海道フォーラム実行委員会[札幌市社会福祉総合センター](10月15日)
- ノ．今こそ変えよう!「障害者自立支援法」10.27北海道フォーラム実行委員会[リンケージ](10月19日)
- ハ．今こそ変えよう!「障害者自立支援法」10.27北海道フォーラム実行委員会[ほくろうビル](10月22日)
- ヒ．今こそ変えよう!「障害者自立支援法」10.27北海道フォーラム[ロイトン札幌](10月27日)
- フ．第56回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月2日)

- ヘ．第57回会議開催[リンケージプラザ](11月12日)
- ホ．第58回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月19日)
- マ．第59回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](12月3日)
- ミ．第60回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](12月17日)
- ム．第61回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月10日)
- メ．民主党市民連合との意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](1月16日)
- モ．第62回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月21日)
- ヤ．第63回会議開催[札幌市身障福祉センター](2月4日)
- ユ．第64回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月12日)
- ヨ．第65回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月18日)
- ラ．第66回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月25日)
- リ．第67回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月13日)
- ル．第68回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月17日)
- レ．札幌市議会市民ネットワーク北海道との意見交換会[札幌市身障福祉センター](3月27日)

札幌市障がい者による政策提言サポーター会議

- ア．懇談会
 - ・第1回〔札幌市身障者福祉センター〕(5月22日)
 - ・第2回〔札幌市視聴覚障がい者情報センター〕(9月16日)
- イ．意見聴取
 - ・第1回〔豊平区民センター〕(5月14日)
 - ・第2回〔中央区民センター〕(6月28日)
 - ・第3回〔清田区民センター〕(8月11日)
- ウ．ワーキング会議等
 - ・第1回〔札幌市身障者福祉センター〕(10月10日)
 - ・第2回〔札幌市身障者福祉センター〕(10月24日)
 - ・第3回〔札幌市身障者福祉センター〕(11月7日)
 - ・第4回〔札幌市身障者福祉センター〕(11月21日)
 - ・中間全体会議〔札幌市身障者福祉センター〕(12月14日)
 - ・第5回〔札幌市身障者福祉センター〕(1月11日)
 - ・最終全体会議〔札幌市身障者福祉センター〕(1月21日)
 - ・第6回〔札幌市身障者福祉センター〕(3月10日)
- エ．提言書提出
 - ・平成19年度提言書[札幌市役所](2月13日)
- オ．その他
 - ・区保健福祉課新任者基礎研修への講師派遣[STV北2条ビル](5月31日)
 - ・施設見学〔社会福祉法人 アンビシャス〕(7月3日)
 - ・手稲区保健福祉部職員研修への講師派遣[手稲区役所](12月3、4、10日)
 - ・その他、事務会議について数回

北海道地域生活移行システム検討委員会

- ア．第1回検討委員会開催[道庁西別館](8月31日)
- イ．第2回検討委員会開催[道庁別館](1月18日)
- ウ．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[北斗市総合文化センターかなでーる](1月26日)
- エ．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[赤れんが](1月27日)
- オ．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[上川合同庁舎](2月2日)
- カ．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[網走総合庁舎](2月3日)

- キ．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[十勝合同庁舎](2月9日)
- ク．障がい者地域生活説明会「地域でくらす」開催[道庁別館](2月10日)
- ケ．第3回検討委員会開催[小樽市民センターマリンホール](3月29日)

第五期札幌市福祉のまちづくり推進会議

- ア．第1回札幌市福祉のまちづくり推進会議[札幌市役所](10月31日)
- イ．「安心・安全なお出かけを考えるシンポジウム～転落事故から1年～」[札幌エルプラザ](12月10日)
- ウ．優しさと思いやりのバリアフリー検討部会[札幌市役所](2月7日)
- * 委員22名(公募委員5名)。2検討部会に各11名の委員で構成する。
- * 部会としては、「優しさと思いやりのバリアフリー検討部会」と「第2次札幌市交通バリアフリー基本構想検討部会」を設置している。

北海道福祉サービス第三者評価事業「第三者評価機関認証委員会」

- ア．平成19年度第2回第三者評価機関認証委員会[しんきんけんぽ会館](2月19日)
- イ．平成19年度第3回第三者評価機関認証委員会[SCビル](3月26日)

駐車禁止除外指定車標章の制度変更への対応について

- ア．駐車禁止除外指定車標章の制度変更に関する意見及び要望提出[公安委員会&北海道警察](9月20日)
- イ．駐車禁止除外指定車標章の改正の調査打合せ[札幌市身障福祉センター](12月21日)
- ウ．身体障害者等駐車禁止除外指定車標章の改正にともなう影響に関する実態調査(1月10日～3月31日)
- エ．道議会傍聴[北海道議会](3月12日)

イラク自衛隊派兵反対訴訟原告団(DPI北海道ブロック会議事務局長参加)

- ア．第15回口頭弁論[札幌地裁](4月16日)
- イ．第16回口頭弁論[札幌地裁](5月28日)
- ウ．第17回口頭弁論[札幌地裁](6月25日)
- エ．第18回口頭弁論・結審[札幌地裁](9月3日)
- オ．判決[札幌地裁](11月19日)
- カ．控訴申立[札幌高裁](12月3日)
- キ．3．20さっぽろピースウォーク[札幌市内](3月20日)
- ク．ピース・トーク集会「イラク占領、まる5年。いま語ろう！～平和を願い、世界が動く～」[北海道クリスチャンセンター](3月20日)

その他

- ア．「特別支援教育に関する基本方針(仮称)素案」への意見提出[北海道教育委員会](11月1日)
- イ．精神障害者の交通費割引制度を求める署名[北海道バス協会](11月21日)
実施時期：2007年7月～10月 集約数：26,041筆
- ウ．協同労働の協同組合法の速やかなる制定を求める団体署名(11月30日)
- エ．障害者権利条約批准・インクルーシブ教育推進ネットワーク賛同(1月15日)
- オ．ハンセン病問題基本法制定署名(1月16日～)
- カ．「相模原市上鶴間の息子2人殺害事件に関する意見書」賛同(2月4日)
- キ．「障害者自立支援法の改正する省令」に関するパブリックコメント提出(3月26日)

事務局移転(2007年9月28日 豊平区へ)

2 広報、啓発、調査等事業

(1) 講演会、学習会等(主催・共催)

「障害者でもいいしょ！」セミナー[札幌市視聴覚障がい者情報センター](8月5日)
障害者権利法制の確立に関するセミナー[札幌市視聴覚障がい者情報センター](11月23日)
JDF地域フォーラムin北海道[札幌市社会福祉総合センター](3月27日)

- ア．実行委員会準備会[札幌市身障福祉センター](2月21日)
- イ．第1回実行委員会[札幌市社会福祉総合センター](2月28日)
- ウ．第2回実行委員会[札幌市身障福祉センター](3月24日)
- エ．第3回実行委員会[札幌市社会福祉総合センター](5月26日)

(2) DPI日本会議機関誌等への寄稿

DPI北海道報告「投票へ行こうよキャンペーン活動!!」(DPI Vol23.1 4月30日発行)
2006年度第6回DPI日本会議常任委員会学習会：権利条約報告(月刊われら自身の声2007年5月号)
DPI北海道報告「第5回DPI北海道ブロック会議通常総会」(DPI Vol23.2 7月13日発行)
「自立支援施行下の障害者の就労状況について」(北海道作業療法士会ニュース8月号)
『Q&A 障害者の権利条約ってなあに?』問17 職場における合理的配慮
第7回DPI世界会議韓国大会の参加報告について(月刊われら自身の声2007年9月号)
第7回DPI世界会議韓国大会の参加報告について(障害者の福祉 2007年10月号)
『障害者の権利条約でこう変わる Q & A』発刊(11月19日)定価1,470円(執筆者1,176円)
障害者雇用・就労と国連・障害者権利条約(職リハ学会誌)
2007私が選んだ5大ニュース(障害者の福祉 2007年12月号)
共生・共学実践資料特別寄稿
DPI北海道報告「駐車禁止除外指定車標章の改正にともなう対応」(DPI Vol23.4 2月1日発行)

(3) ホームページの充実とメーリングリスト・メール、FAXによる各種情報提供

ホームページ更新 10回
メーリングリスト・メール、FAXによる各種情報提供 241回

(4) 講演会、諸会合への講師・来賓出席等

第12回精神障害者社会参加促進研修会&第23回道回連総会[札幌市社会福祉総合センター](7月8日)
第11回ヨットエイド北海道[石狩湾新港西地区](7月15日)
日本職業リハビリテーション第35回大会[北大クラーク会館](7月26日)
第29回全国筋ジストロフィー北海道大会[ホテルライフオート札幌](9月14~15日)
第26回全道肢体不自由児者福祉大会[登別グランドホテル](10月13~14日)

(5) 会費納入促進と賛助会員の募集及び拡大について

3 共催、協賛、後援、協力等事業

- (1) 国交大臣認定第1回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](4月14~15日)
- (2) 国交大臣認定第2回移送サービス運転協力者講習会[幕別町100年記念ホール](5月12~13日)
- (3) 国交大臣認定第3回移送サービス運転協力者講習会[夕張自動車学校等](5月11~12日)
- (4) 障害の重い人たちの地域生活について[自治労会館](5月27日)
- (5) 国交大臣認定第4回移送サービス運転協力者講習会[ポルト](6月16~17日)
- (6) (社団)札幌聴力障害者協会創立60周年記念式典・講演&祝賀交歓会(6月17日)(ロイトン札幌 他)
- (7) 第15回障害者にやさしい北海道の旅[夕張、芦別、栗山](7月14~15日)
- (8) 国交大臣認定第5回移送サービス運転協力者講習会[サンリフレ函館](7月21~22日)

- (9) 国交大臣認定第6回移送サービス運転協力者講習会[室蘭市中小企業センター](7月20～21日)
- (1 0) 日本職業リハビリテーション学会 第35回大会[北大学術交流会館等](7月26～27日)
- (1 1) 第34回難病患者・障害者と家族の全道集会[かでの 2 . 7](8月4～5日)
- (1 2) 第2回さっぽろ元気まつり[中島公園](8月11～12日)
- (1 3) 国交大臣認定講習第1回移送サービス運転協力者代替講習会[伏古記念会館](8月25日)
- (1 4) 国交大臣認定第7回移送サービス運転協力者講習会[あいのさとサポートC](8月25～26日)
- (1 5) 国交大臣認定第8回移送サービス運転協力者講習会[あいのさとサポートC](9月15～16日)
- (1 6) 国交大臣認定講習第2回移送サービス運転協力者代替講習会[あいのさとAC](9月16日)
- (1 7) 国交大臣認定講習第3回移送サービス運転協力者代替講習会[旭川明成高校](10月27日)
- (1 8) 国交大臣認定第11回移送サービス運転協力者講習会[同上](10月27～28日)
- (1 9) 北海道心の病110番(10月28日)
- (2 0) 国交大臣認定講習第4回移送サービス運転協力者代替講習会[日赤北海道看護大学](11月3日)
- (2 1) 国交大臣認定第12回移送サービス運転協力者講習会[同上](11月3～4日)
- (2 2) 国交大臣認定講習第5回移送サービス運転協力者代替講習会[ポルト](11月24日)
- (2 3) 国交大臣認定第13回移送サービス運転協力者講習会[同上](11月24～25日)
- (2 4) 精神障害者の交通費割引制度を求める署名(24,207筆)活動[北海道バス協会](11月21日)
- (2 5) 国交大臣認定第15回移送サービス運転協力者講習会[あいのさとサポートC](12月15～16日)
- (2 6) 協同労働法制化を求める地域市民集会in北海道[札幌エルプラザ](11月30日)
- (2 7) 灯油宅配サービス[函館市内](1月～4月)
- (2 8) 国交大臣認定第16回移送サービス運転協力者講習会[幕別百年記念ホール](1月19～20日)
- (2 9) 国交大臣認定講習第8回移送サービス運転協力者代替講習会[同上](1月20日)
- (3 0) 国交大臣認定第17回移送サービス運転協力者講習会[しんきんけんぽ会館](2月16～17日)
- (3 1) 国交大臣認定講習第9回移送サービス運転協力者代替講習会[同上](2月17日)
- (3 2) 国交大臣認定講習第10回移送サービス運転協力者代替講習会[日赤北海道看護大学](3月20日)
- (3 3) 国交大臣認定第18回移送サービス運転協力者講習会[同上](3月20～21日)
- (3 4) 国交大臣認定講習第11回移送サービス運転協力者代替講習会[ポルト](3月22日)
- (3 5) 国交大臣認定第19回移送サービス運転協力者講習会[同上](3月22～23日)